

【特集】 第30回国際労働問題シンポジウム ：仕事の未来とグリーン・ジョブ：特集に あたって

藤原, 千沙 / Fujiwara, Chisa

(出版者 / Publisher)

法政大学大原社会問題研究所

(雑誌名 / Journal or Publication Title)

大原社会問題研究所雑誌 / 大原社会問題研究所雑誌

(巻 / Volume)

714

(開始ページ / Start Page)

1

(終了ページ / End Page)

1

(発行年 / Year)

2018-04-01

(URL)

<https://doi.org/10.15002/00014860>

【特集】第30回国際労働問題シンポジウム

仕事の未来とグリーン・ジョブ

特集にあたって

本特集は、第30回国際労働問題シンポジウムの記録である。法政大学大原社会問題研究所が、1987年に第1回国際労働問題シンポジウムを開始して以来、30年目を迎えた。

本シンポジウムは原則として、その年のILO総会の議題のなかから、日本との関係でとくに重要な議題をテーマとしてとりあげてきたが、今回は総会議題をとりあげるのではなく、ガイ・ライダー事務局長が総会に提出した「気候変動と仕事：グリーン・イニシアチブ」と題する報告書を取りあげた。すべての人々にディーセント・ワーク（働きがいのある人間らしい仕事）の機会をもたらす、地球環境に配慮した持続可能な社会経済への公正な移行に、ILOそして日本はどのように貢献できるのか。第1部では、ILOのグリーン・ジョブ促進の具体的な活動を紹介し、政労使からそれぞれのグリーン・ジョブに関連する取組みについてお話をいただいた。第2部では、2人の研究者から当該テーマにかかわるご講演をいただき、フロアからの発言も含めてディスカッションを行った。

共催のILO駐日事務所、後援の日本ILO協議会のご協力もあり、約80人の参加を得て、充実したシンポジウムとなった。両団体およびご登壇いただいた方々をはじめ、すべての関係者にお礼を申し上げたい。

(藤原 千沙)

第30回国際労働問題シンポジウム 仕事の未来とグリーン・ジョブ

共催 法政大学大原社会問題研究所
ILO 駐日事務所
後援 日本ILO協議会
日時 2017年10月17日(火) 午後2時～5時20分
会場 法政大学市ヶ谷キャンパス
ボアソナード・タワー (スカイホール)

プログラム

司会	法政大学大原社会問題研究所准教授	清水善仁
■第1部		
2017年ILO総会と気候変動/グリーン・ジョブに対する取組みの紹介		
ILOの取組み	ILO 南太平洋島嶼国別事務所	佐々木聡
政府の取組み	厚生労働省大臣官房国際課	吉村紀一郎
労働者側の取組み	連合社会政策局	小熊 栄
使用者側の取組み	経団連労働法制本部	森田清隆
■第2部 仕事の未来とグリーン・ジョブに関連する講演およびディスカッション		
「地域再生のためのグリーン・ジョブ——コミュニティ・パワーの実践から考える」	法政大学人間環境学部教授	西城戸誠
「環境規制と地球環境問題について——技術開発や公害対策史の視点から」	千葉商科大学人間社会学部教授	伊藤 康
パネルディスカッション		

(注) 肩書は2017年10月現在